



日本共産党 市議会報告



市議会議員
元木美奈子



市議会議員
美勢 麻里

14年2月10日 第1277号
【発行】
日本共産党浦安市議団
市役所内控え室(議会棟1階)
☎&FAX (350)1243

子育ても老後も安心
住み続けたい浦安を

入船 4-37-14
☎355-8526
minamonton@
jcom.home.ne.jp

北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

浦安駅周辺開発で

新浦安駅第6駐輪場を廃止！



駅に近くて 便利な駐輪場

浦安市は、東西線浦安駅周辺開発をすすめるために、「たかみビル」の土地・建物(猫実四丁目)の取得に向けて権利者と交渉を重ねてきたものの、新浦安駅第6駐輪場用地(入船一丁目)との交換で合意したと発表しました。

しかし、新浦安駅第6駐輪場の平日の利用は1500台、駅に近くて使いやすいために、市民にとって欠かせない駐輪場となっています。

昨年12月議会収集日に松崎市長から報告された浦安駅周辺開発に関わる土地交換によって、新浦安駅の駐輪場がなくなるのは困る、何とかしてほしいと訴える市民の声が高まっています。

土地の広さと評価額

	面積 (㎡)	評価額
新浦安駅 第6駐輪場 (入船1丁目)	1998.0㎡	6億6600万円
たかみビル (猫実四丁目)	土地	5億7000万円
	建物延べ床面積	
	2921.12㎡	



昨年12月議会には、たかみビルとの正式な契約がまだ終了していないにもかかわらず、駐輪場を廃止する議案が提案され、市議会は賛成多数で可決(日本共産党は反対)しました。

浦安駅前 再開発

市民の願いにかなっているの？

新浦安駅周辺の
まちづくりにも影響が

「出来るところから
着きする」と言いが…



市は土地交換に際し、不動産評価額に基づき、差額分の9600万円をたかみビル側に支払ってもらおうとしています。

しかし、市民の貴重な財産であった駐輪場跡地を、今後、たかみビルがどのように活用するのか、新浦安駅周辺の街づくりと直結する重大な問題です。

浦安駅周辺開発は「出来るところから着手する」などとして、平成18年度に方針が公表されました。

「規模や内容は今後、関係者と協議して進める」としていますが、具体案は、浦安駅周辺の市の駐輪場と千葉銀行・たかみビルなどの土地を種地にして、やなぎ通り沿いにツインビルを建て、歩行者デッキを整備する再開発事業です。

将来の開発に 障害になるのでは

市民の一番の願いは、駅前広場の整備です。

ロータリーを広げ、バスやタクシー、一般車両などの処理ができる機能の確保です。この計画が実施されると、駅周辺に新たに高層ビルが建ち、市民の望む駅前整備の障害になるおそれがあります。



再開発 事業って？



再開発事業について、「区画整理・再開発対策全国連絡会議」事務局長の遠藤哲人氏は次のように語っています。

- 再開発事業は「古い建物に住み、営業する住民が負担なしで建物を新しくできる」と流布されるが、実はそうではない。地権者は自分の土地を処分し、新たなビル床をもらうに過ぎない。
- 再開発のビル床は土地・建物交換で時間経過とともに物理的な減耗、価値的な減耗がある償却資産である。
- 再開発事業は、再開発前の土地建物の権利を縦に積み上げて、空けた土地・空間で、施行者（参加組合員）が保留床を整備し売却する不動産事業である。